

定数削減決定!

まこと新聞

高島まこと
 発行 高島市 直大寺
 後援 明石市 法道
 亀山市 205
 85-1744



こんにちは、高島まことです。十三号発行させて頂くことになりました。予てから皆様にお約束のひとつとして、市議会議員定数削減案ですが、遂に十一月九日臨時議会にて正式に決定致しました。

今回、決定しました内容は、現在二十二議席を四議席削減し、十八議席となります。自ら身を削り定数削減することで、人件費を削減し、市民の皆様にご理解頂けると思い、今日まで議論してまいりました。

下記の表をご覧ください。地域性が有りますので、一概には云えませんが、四市の中でも亀山市が、人口の割に議員数が、多い事が云

	人口	有権者数	議員定数	議員1人当たり人口	市民1万人当たりの議員数
名張市	82,243	66,742	20	4112.15	2.43
桑名市	142,104	109,337	30	4736.80	2.11
常滑市	55,525	44,436	18	3084.72	3.24
亀山市	49,710	39,034	22	2259.54	4.42

えます。四議席削減し一八議席になりますと、議員一人当たりの人口は、二七六一・六六六人、市民一人当たりの議員数は、三六二人となります。従いまして、議席削減の効果として、議員報酬が、議員一人当たり、月額三九万円、年間四六八万円、期末手当(ボーナス)、六ヶ月一七ヶ月、六六・三万円。一二月期一八五ヶ月、七二・一五万円、年間一三八四五万円。その他、政務調査費として月額二万円、年間二四万円支給されます。年間、一議員当たり合計六三〇四五万円。四議員二五二一・八万円。任期四年ですので、約一億円の削減となります。二十二議席から十

八議席に変更になることは、その分次回の選挙は、一層厳しい選挙戦となります。前回、初めての選挙は、皆様の暖かい期待票で、当選させてましたが、二期目からは、そうはいきません。一期四年間の実績を有権者の皆様に評価して頂き投票して頂くこととなります。私、高島まことは、残された任期中間、皆様の声に耳を傾け、より良い亀山市に変革していく所存で御座います。今後とも御指導、御鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

教育民生副委員長

同日、来期の委員会が決定しましたのでお知らせいたします。

私は、教育民生委員に所属し、副委員長の職を拝命致しました。森 美和子氏が、委員長として就任され市議会に於いては、櫻井清蔵氏が、議長に就任されました。

台風17号と豪雨による補正予算について

先日、九月三十日（日）台風十七号に依る被害は、ここ亀山市でも非常に大きな被害をもたらしました。皆様の周りの被害状況は如何だったでしょうか。今回の台風による災害復興費の補正予算及び被害状況の報告が有りましたのでお知らせします。

一般会計補正額四億四百四十万円計上されました。歳出内訳は、補助災



害復興費一億四千九百四十万円と、単独災害復興事業二億二千五百五十万円です。一例として、辺法寺農営集会所のり面復興工事などが、計上致しました。

警報発表等の状況
平成二十四年九月三十日
十一時三十三分、暴風警報発表。
同、十六時二十九分 大雨・洪水警報発表。
同、十七時十五分、土砂災害警戒情報発表。
被害状況
人的被害・・・なし
住家被害

床上浸水・・・九棟
床下浸水・・・六棟
非住家被害
床上浸水・・・一棟
道路・河川被害
道路・中庄高野尾線・・・市内六十箇所以上
河川・鈴鹿川・・・右岸堤防決壊一箇所
中ノ川・・・護岸崩壊二箇所
加太川・・・護岸崩壊三箇所
農林業用施設等被害
林道施設・・・三十四箇所
治山施設・・・一箇所
農地・農業用施設・・・九十箇所
避難の状況
十六時四十分 避難準備情報発令・・・・・
報発令・・・・・
七十七世帯 二千八十人
南鹿島（百九十八世帯 五百二十二二人）同五十五分避難勧告発令・・・・・
十九時五十分避難指示発令
同地区
合計七十五人避難実施

災害対策本部の体制と活動状況
体制 市職員三百五十二人（うち消防職員七十人）

消防団員 百四十人
三重県民センター職員一人
十一時三十三分 亀山市災害対策本部設置（第二次警戒体制）
十六時三十分 同（非常体制）
二十一時 同（第一次警戒体制）
主な被害状況及び活動
樁世町・・・独り暮らし高齢者宅が床下浸水し、避難できない（救助要請）
亀山消防署出勤
田村町・・・用水路が氾濫し、アパートの駐車場の半分が冠水
川崎町・・・県道辺法寺加佐登停車場線（暁山会前）冠水
東御幸町・・・旧国道一号、アオイ書店前冠水
安知本町・・・県道鈴鹿芸濃線JA鈴鹿南部募集集荷施設付近 乗用車転落・・・・・
消防団により一名救出（負傷なし）
関町木崎・・・岩田石油店南側県道冠水、車両一台水没
菅内町・・・国道三百六号線冠水、車両二台水没

浸水家屋に対する措置状況
被災家屋のトイレ汲取り
床上床下浸水家屋の消毒
床下の停留水の汲取り
市、社協による家財等の搬出と回収
床上浸水世帯に対する見舞金の支給
この様に亀山市内各所で大きな被害が有りました。幸いにして人的被害が無かつた事は、不幸中の幸いだと思えます。しかし、お隣の鈴鹿市和泉町市道で奥様の運転する車が冠水し、助けに行かれた旦那様が流され水死されると云った痛ましい事故も発生しました。水害に備え普段から側溝や、排水溝の点検、掃除をし、水捌けを良くして置くことも肝心です。又、冠水しやすい場所には、近づかない、不必要な外出は避けると云った心構えも必要かと思えます。

やはり、台風も地震対策と同じで、非常食や、非常備品の備え又、災害の情報収集も必要だと思えます。